

力強い演奏と華やかなパフォーマンスで観衆を魅了

9月23日開催 — 第4回北秋田市たかのす太鼓まつり



▶さわやかな秋晴れの下、会場となった大太鼓の館・野外ステージでは、およそ1500人が太鼓まつりを楽しみました。行楽の途中立ち寄った県外からの観光客も多く、イベントとともに、大太鼓の館の各展示コーナーも見学していました。

◀観客も参加した「ドラムサークル」。リズムを身体を使って楽しみ、ストレスを発散することで心身ともに健康になる、全員が参加者で観客のいない音楽活動ともいわれています。



(表紙から続く)

このイベントは、市観光協会鷹巣支部や綴子上町・下町大太鼓保存会など各太鼓団体などで組織する「北秋田市たかのす太鼓祭り実行委員会(村井松悦実行委員長)」が主催。今年は市内から7団体のほか、ドラムサークル愛好会と大館市の田代太鼓振興会が出演しました。雲ひとつない秋晴れの下で始まった太鼓まつりの幕開けで観客を驚かせたのが直径3・80mと3・33mの2張りの大太鼓が登場した綴子上町大太鼓保存会。7月14日・15日に行われる地元・綴子神社の例大祭で奉納される大太鼓の曲目「出陣」「二つ奴」「輪打ち」の3曲を打ち鳴らし、大太鼓の迫力を見せつけました。



▶決まっています!
(鷹巣ばやし普及会ジュニア)

この後、各太鼓グループが個性豊かなスタイルとパフォーマンスで次々と見事な腕前を披露し、市内外から訪れた見物客を楽しませました。

▼乗りのよい曲「Swing」で会場を湧かせた鷹巣ばやし普及会



▲6年生全員が参加してくれた鷹巣小学校の「鷹っ子ばやし」。「竹」と「樽」を組み合わせたパーカッションと、リコーダーとのアンサンブルで熱演しました。

▶衣装もバッチシ!
(田代太鼓振興会ジュニア)



◀「秋田わか杉国体」の文字が入った頭巾をかぶって熱演した「婦団連ふるさと子供太鼓」

▲軽やかな振り付けと演奏で華やかさを演じた「婦団連ふるさと太鼓」。



▲お隣りの大館市から参加していただいた「田代太鼓振興会」。ジャンプなどのパフォーマンスも大受けでした。



▲女性による担ぎ太鼓の両面打ちなどが目を引いた「森吉山麓火まつり太鼓」

◀伝統の獅子踊りも出演した綴子下町大太鼓保存会。大太鼓をバックに、勇壮で躍動感あふれる舞いを披露しました。 ※長烏帽子に奴袴姿は口上を述べる「露弘太夫(つゆはらいたゆう)」